

使用に際して、この説明書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。



# グレラン<sup>®</sup>エース錠

## 非ピリン系鎮痛・解熱剤

### 特 徴

第Ⅱ類医薬品

- 頭痛・歯痛・生理痛などの痛みをやわらげ、悪寒・発熱時の解熱に対してすぐれた効果をあらわすエテンザミド、アセトアミノフェン配合の白色の錠剤です。
- 鎮痛・解熱成分に、痛みをおさえる成分の働きを助けるプロモバレリル尿素、発熱時に消耗しやすいビタミンB<sub>1</sub>の誘導体ジベンゾイルチアミンを配合しています。

### ⚠ 使用上の注意



#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

#### 1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

#### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗り物酔い薬

#### 3. 服用後、乗り物または機械類の運転操作をしないこと

(眠気等があらわれることがある)

#### 4. 服用前後は飲酒しないこと

#### 5. 長期連用しないこと



#### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

#### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

(裏面へ続く)

症状の名称	症 状
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、 息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強がみられた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること  
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

## 効 能

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱



## 用法・用量

次の量を、なるべく空腹時をさけて、水またはお湯で、かまずに服用すること。

年 齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	2錠	2回を限度とする。 服用間隔は6時間 以上あけること
15歳未満	服用しないこと	



<用法・用量に関連する注意>

(1)用法・用量を厳守すること。

(2)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。(誤ってそのままのみこんだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。)



## 成 分

4錠(1日最大服用量)中

はたらき	成 分	含 量
痛みをおさえ、熱を下げます。	エテンゲミド	1,000mg
痛みをおさえ、熱を下げます。	アセトアミノフェン	600mg
痛みをおさえる働きを助けます。	プロモバレリル尿素	400mg
痛みをおさえる成分の働きを助けます。	無水カフェイン	52mg
痛みをおさえる成分の働きを助けます。 また、発熱時に消耗しやすいビタミンB <sub>1</sub> の誘導体です。	ジベンゾイルチアミン (ビタミンB <sub>1</sub> 誘導体)	20mg

添加物：クロスカルメロースNa、ステアリン酸Mg、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、リン酸水素カルシウム水和物

## 保管および取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に箱に入れて保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー「お客様相談室」

〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号

☎0120-567087

受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

●タケダ健康サイト

<http://takeda-kenko.jp>

製造販売元  **武田薬品工業株式会社**

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号